

そば栽培で地域の農地を守る 建設業の農業参入について



森建設工業株式会社

会社概要

名 称：森建設工業株式会社

所 在 地：秋田県にかほ市象潟町長岡字向工 2 1

創 業：昭和 4 年 1 月 1 日

事業内容：総合建設業、**そば事業**



平成 2 9 年度農業参入



農業参入のきっかけ

ビジネスチャンス

- ・インフラ整備の成熟に伴い、新たな事業展開や同業他社との差別化が必要

地域貢献

- ・農業者世帯の高齢化による耕作放棄地の増加
- ・地域雇用の継続と人材の有効利用

農地の受け手が
いればなあ～

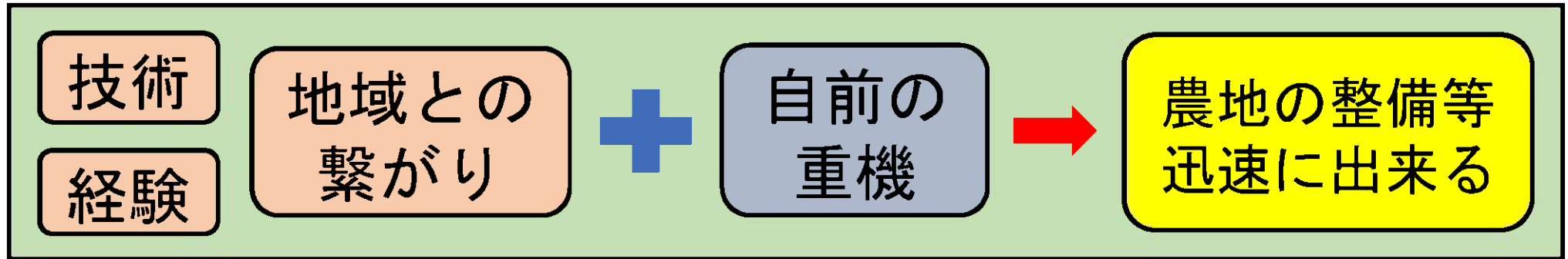
建設業の技術を活かせる

農業

比較的栽培のしやすいそば事業へ



建設業が農業を行うメリット



農業参入へのあゆみ

年次	事項	内容
H28. 9. 26	森建設工業(株)定款改正	定款を改正して事業目的に農産物等の生産・加工・販売を追加
H28. 10. 26	農業経営改善計画認定申請	農業者として認定申請。初年度借入地計画500a
H28. 11. 21	認定審査会	農業経営改善計画認定審査会で当社の事業説明を行う
	(認定書交付)	(H28. 11. 21付で認定書を受領)
H29年度	秋そば作付・販売	作付：19.02ha 生産・販売：4,995kg（紙袋222袋）
H30年度	夏・秋そば作付・販売	夏そば作付：19.2ha 生産・販売：4,100kg（フレコン6袋）
		秋そば作付：26.8ha 生産・販売：3,033kg（フレコン2袋、紙袋72袋） ※収穫期に台風の直撃で大幅な減収
R元年度	夏・秋そば作付・販売	夏そば作付：19.3ha 秋そば作付予定：52.2ha
	刈取受託	秋そば刈取受託面積：7.4ha（1法人・1個人）

そば事業のねらいと効果

食の**健康志向**による
そばブームで需要が
高い

水稻や他の畑作物に比
べて手間がかからず**取
り組みやすい**

土地利用型農業とし
て**耕作放棄地の解消**
と**休耕田の有効活用**
に寄与

高齢化する農家世帯の
担い手不足解消の受け
皿の一つとなる

営農状況

①規模

年次	経営面積	うち、中間 管理事業分	作付 面積	夏そば	秋そば	うち、 二期作
H29	19.02ha	14.26ha	19.02ha	0ha	19.02ha	0ha
H30	42.2ha	36.26ha	46.0ha	19.2ha	26.8ha	3.8ha
R1 (H31)	60.5ha	46.91ha	71.5ha	19.3ha	52.2ha	11ha

今年度 71.50ha（予定）



今後

最終的に目指している面積等は設定していないが、
今の施設規模や環境で考えて、**100ha程度は経営可能**と考えている

②保有農機具

トラクター	肥料散布機 (前・後)	除草剤散布機	ブロードキャスター	コンバイン
4 台	2 台	2 台	1 台	2 台
乾燥機	ライスプール	糶摺機	石抜機	集塵機
1 台	1 台	1 台	1 台	1 台
フレコン計量器	30kg計量器	トレーラー	グレンタンク	草刈モア
1 台	1 台	1 台	1 台	1 台

- 農作業は従業員で役割分担
- トラクター3台がフル稼働できるようにしている



③作付状況

夏そば・秋そばの年3回転

○種まき ●収穫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏そば	○ ————— ●											
秋そば①			○ ————— ●									
秋そば②				○ ————— ●								

今年から試験的に年3回作付実施

秋そばは収穫時期が台風にあたる

リスク分散

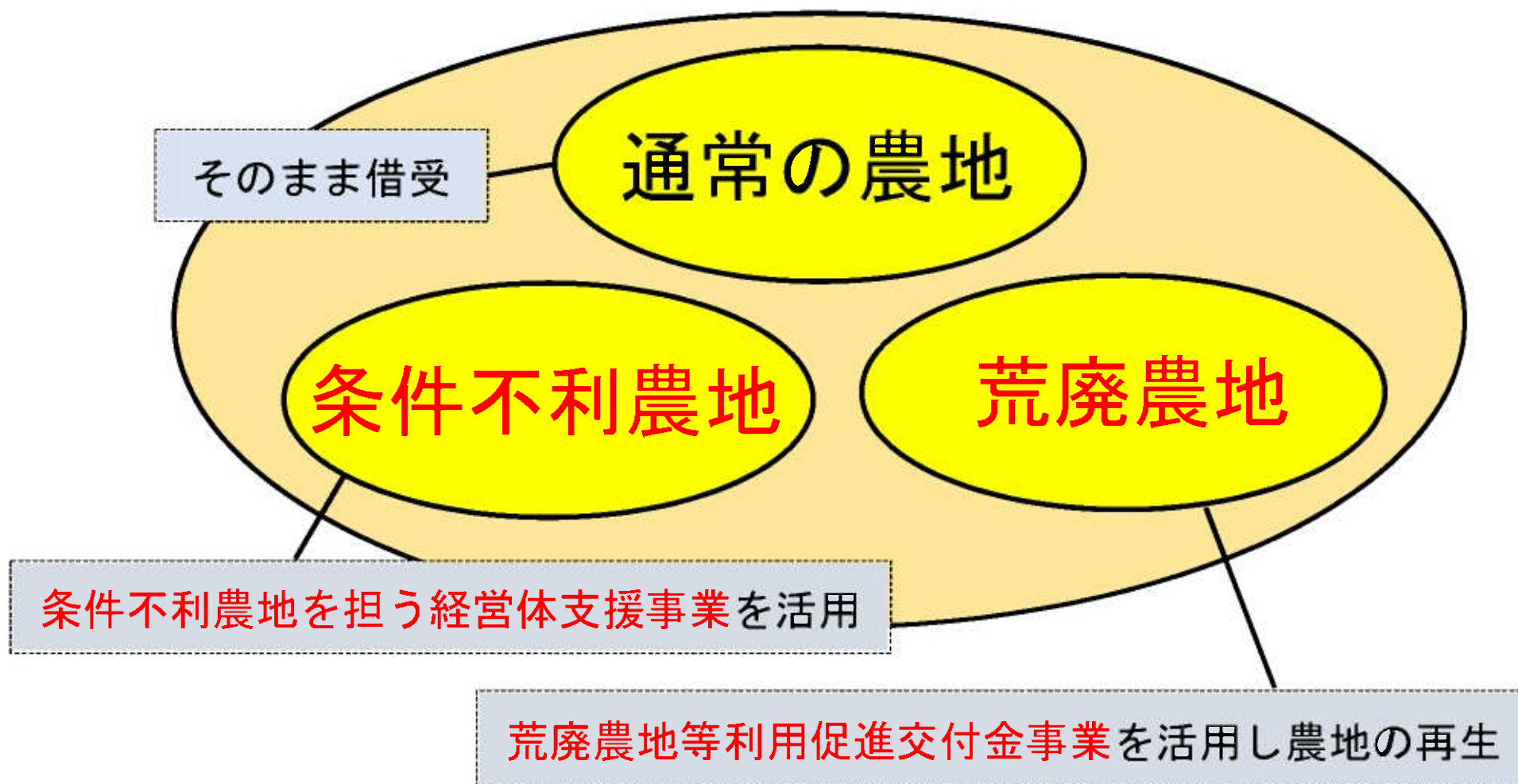


④借受前の圃場現況

借受面積		617, 280m ²	
内訳	水稻作付	183, 400m ²	29. 7%
	※一般作物	40, 950m ²	6. 6%
	自己保全管理	325, 620m ²	52. 8%
	未管理水田	59, 420m ²	9. 6%
	荒廃地	7, 890m ²	1. 3%

※一般作物（大豆・そば・なたね・野菜・花き・景観作物等）

⑤借受農地種別活用事業



条件不利農地を担う経営体支援事業

- ・ 中山間地域等の条件不利な農地を機構を活用して集積し、農地の保全に取り組む担い手を支援する事業

①交付対象者

「人・農地プラン」に位置づけられている中心経営体で、市町村長が認定した条件不利農地を、機構を活用して原則10年以上借受ける経営体

②交付対象農地

中山間地域のうち、市町村長が条件不利と認定した農地（安定した水源がない、農道が未整理等）

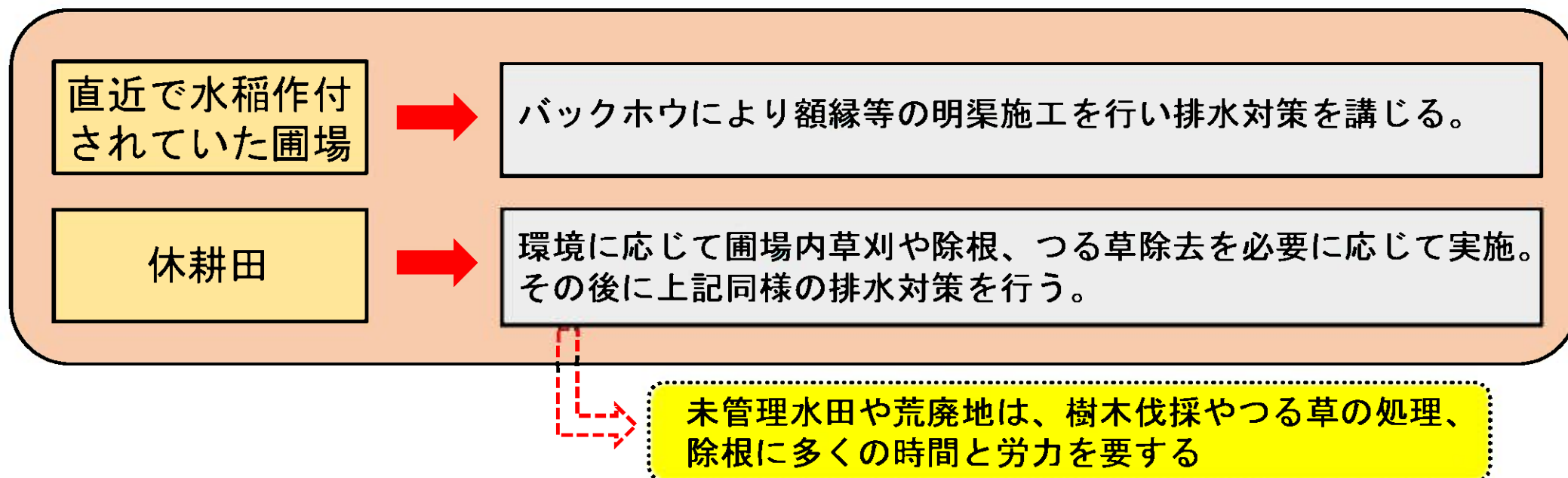
③交付単価

一定の条件のもと1～2年間、上限10,000円/10a（2年目は1年目交付額の半額）

荒廃農地等利用促進交付金事業

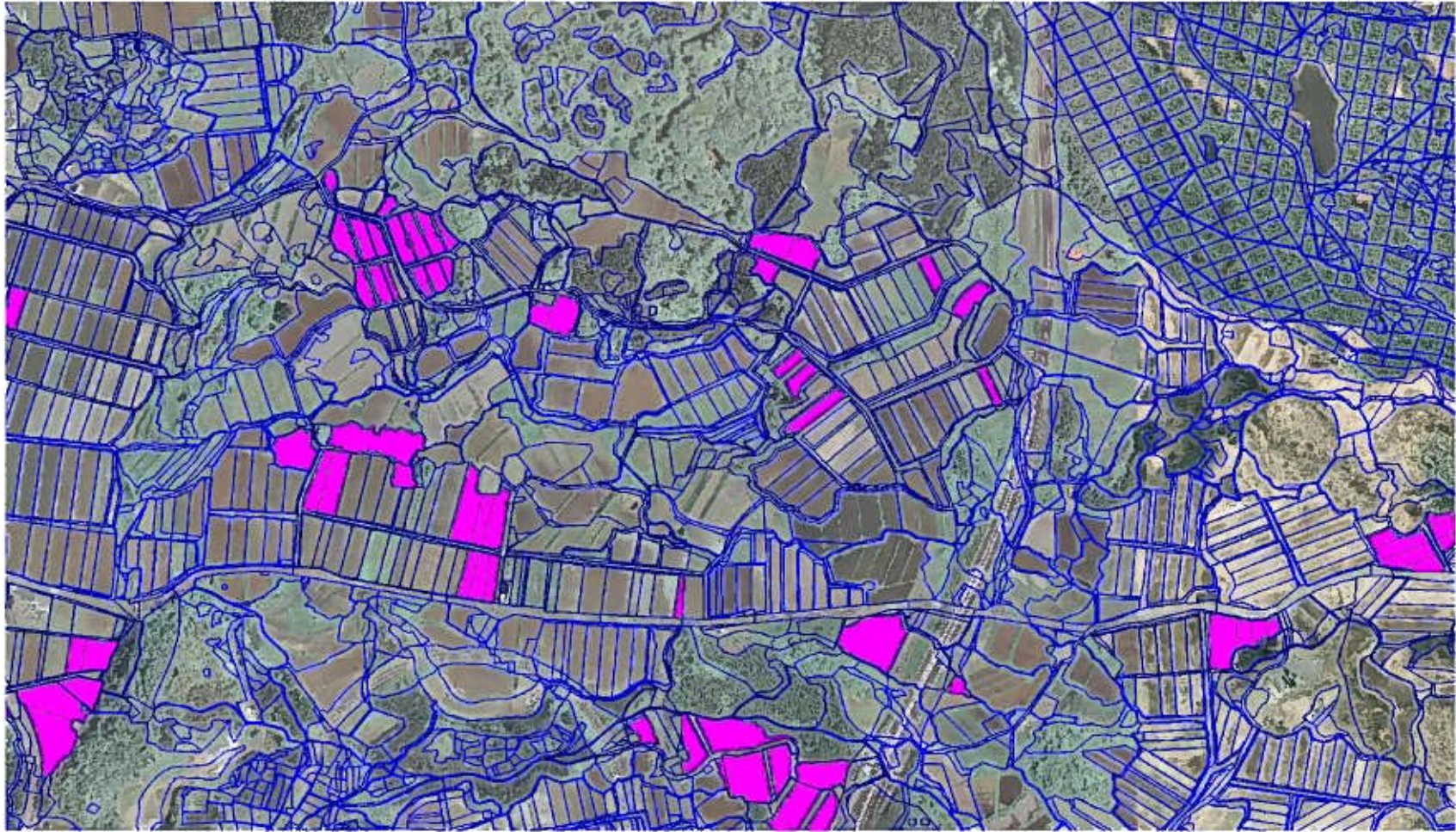
- ・ 農業者、農業者が組織する団体等が、荒廃農地等を引き受けて営農を再開するために行う、再生作業、土壌改良、営農定着、加工・販売の試行、施設等の整備を総合的に支援する事業（事業はH30で終了）

⑥ 圃場整備の状況



- ・ 当地域は鳥海山の麓、北西に広がっており、**どの圃場も大小の石が混在**。圃場内の石拾いも毎年の重要な作業。
- ・ 樹木や葦が繁茂し開田が難しい耕作放棄地については、**荒廃農地等利用促進交付金事業**を活用して圃場整備を実施。（事業はH30で終了）

条件不利農地（一部抜粋）





荒廃農地の整備



明渠施工（排水対策）

2019年
夏・中間・秋
住所
4月 / 日 西大村
明渠施工



収穫



玄そば

夏そば開花盛期（九十九島、日本海）



中間管理事業利用に関して

中間管理事業利用の決め手

経営所得安定対策の交付対象農地から、自己保全管理などの不作付地は除外

一旦、除外された農地は、作付けを再開しても交付金の対象にはならない



農地中間管理機構を通して**解消**

中間管理事業利用のメリット

経営所得安定対策の対象農地として復活

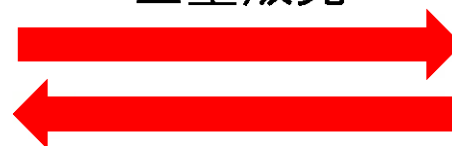
条件不利農地の借り受けに対しての支援措置

経営転換協力金により、出し手から一括して農地を借り受けできる

販路

森建設工業（株）

全量販売



（株） そば研

種子販売

- 首都圏の商社などに卸していたが、今年から全量「株式会社 そば研」に卸している



今後の方針・課題

方針

- 生産・加工したそばを食する店舗やそば粉等の販売は行っていないが、将来的には店舗の開設、加工・販売の6次産業化を目指したい。
- 地域の最後の受け皿としてできる限り農地を引き受けていきたい。

課題

- 借受地の6割強が休耕田で、圃場の整備・整地等初期費用が掛かり増し。
- 借受地の多くが未整備田で600筆を超えるため作業効率が悪い。
- 集中豪雨などで収穫皆無となる場合もある。
- そばの価格が北海道の出来次第で左右され、安価であり当地域は反収が低い（基準反収40kg/10a）